

警察署版テロ対策「彩の国」ネットワークの設立

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場を管轄する7警察署において「テロを許さない街づくり」を推進することを目的とする警察署版テロ対策「彩の国」ネットワークの設立を推進しています。

昨年12月に設立した飯能警察署に続いて、川越警察署等3警察署において自治会等地域住民の方にも参画していただき、テロ対策「彩の国」ネットワークを設立しました。



川越警察署

平成28年6月20日設立

参画：29事業者・団体
来賓：川越市長

浦和東警察署

平成28年6月22日設立

参画：13事業者・団体



狭山警察署

平成28年6月23日設立

参画：25事業者・団体
来賓：人間市長、狭山市長



☆ 今後の警察署版テロ対策「彩の国」ネットワーク設立予定 ☆



来月には、朝霞・新座警察署及び大宮警察署において設立予定のほか、今年度中にラグビーワールドカップ2019競技会場を管轄する熊谷警察署及び繁華街・歓楽街総合対策重点地区指定の西川口駅周辺地区が所在する川口市を管轄する川口・武南警察署において設立を予定しています。

